



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 沢田 光広
編集者 横内 俊博
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2018.6.10 第1518号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを 皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。 加入ってます」

第12回組織強化・拡大 経験交流集会

未加入者に国労加入を呼びかけよう

全国から104人の参加で意見交流

国労本部が主催する「第12回組織強化・拡大経験交流集会」が5月20日・21日の両日、神奈川県箱根路で開催された。交流集会には、国労に加入し奮闘する青年・女性や、労組未加入者、他労組の青年など全国から104人が参加した。盛岡地方本部からは小林楓さん(北上駅連合分会)・及川孝地方本部組織部長が参加し2日間、分散会討議をはじめ全国の仲間と交流を深めた。

た成果「国労加入のきっかけは挨拶から。他労組でも耳と心を傾け呼びかけしていく」など組織拡大の経験を活かした報告がされた。

「国労加入の報告にぎび会」

初日の労働講座では、日本労働弁護団の村上一也弁護士が「36条協定の活用と課題」と題し、約50分間の講演を行った。



=あいさつする菊池本部委員長=

菊池委員長は、「36条協定の活用と課題」と題し、約50分間の講演を行った。菊池委員長は、「36条協定の活用と課題」と題し、約50分間の講演を行った。

当面の主な日程

- 6月18日(盛岡) 第9回地方本部執行委員会
6月24日(盛岡) 相互援護理事会・総代会
7月1日(青森) 第16回青森支部組織対策会

- 7月7日(東京) 東日本本部助役職・技術専任職交流会
7月8日(東京) 東日本本部女性部「明るく元気に学習交流会」

創意工夫しながら 活動を続けていく
地本家族会役員会
地本家族会は6月2日、第2回家族会役員会を開催し、これまでの家族会の取り組みと当面する行動予定について意見交換を行いました。

地本・支部役員組織対策会議

課題を明らかにし 一歩前に進めよう

5月19日盛岡市国労労働会館で青森・盛岡の両支部・地本のそれぞれの役員、18人が参加して、第1回地方本部・支部役員組織対策会議が開催された。

座長に選出された。地本委員長は挨拶で、「東労組の混乱、大量脱退の中、職場では、多くの未加入社員がいる。国労獲得には、今までは違う状況になった。今日の情勢を活かして奮闘していただきたい。職場の未加入社員の状況や獲得に向けていきたい」という発言があった。

阿部一男氏(組織内)当選にむけ支援を

花巻市議会議員選挙 7月22日告示・29日投票



組織内候補の阿部一男氏が社会民主党公認で立候補を予定している花巻市議選(定数26)が7月22日(日)告示、同29日(日)投票で実施される。

地方本部も5月21日に国労盛地選対を発し、安倍政権の暴走に地方から歯止めを掛けたいという声も、阿部氏の必勝に向け、地域共闘との連携を強化し最大限の取り組みを要請している。

阿部氏は、「平和な憲法を市政に生かし、格差のない社会、平和で豊かな花巻を目指すこと」など7つの政策を掲げ、11期目の当選に向け精力的に運動を展開している。阿部氏の当選に向け、友人・知

人の紹介などを積極的に取り組んでいこう。
【主な経歴】
明治大学経済学部卒、国労盛岡地方本部勤務、花巻地方労センター事務局長。
【現在の主な役職】
花巻市議会議員(10期)、市議会総務常任委員、公報公聴特別委員会副委員長、銀河学童クラブ顧問、農林業推進議員連盟会長、花巻中央地区振興会顧問、社会民主党花巻総支部副代表、森林とくらしを考える花巻市民の会事務局長、岩手県農民連合会長。

菊池書記長のまとめでは、「組織拡大の意義をみんなが再度確認しよう。組織拡大に失敗は、つきものである。失敗したら、また振り出しに戻ればいけない。一歩前に進むために、それぞれの課題を明らかにすることが大事である。構えず、「遊び心」を持ちながら、一人ひとりがいまでできることをしっかりと取り組み、奮闘しよう」と訴えた。最後に地本阿部副委員長

昨年(2017)の干支は60年に一度巡ってくる丁酉(ひのと)と、とりで昔からこの一年には自然災害が頻発するといわれており豪雨などによる被害が多

座長に選出された。地本委員長は挨拶で、「東労組の混乱、大量脱退の中、職場では、多くの未加入社員がいる。国労獲得には、今までは違う状況になった。今日の情勢を活かして奮闘していただきたい。職場の未加入社員の状況や獲得に向けていきたい」という発言があった。

座長に選出された。地本委員長は挨拶で、「東労組の混乱、大量脱退の中、職場では、多くの未加入社員がいる。国労獲得には、今までは違う状況になった。今日の情勢を活かして奮闘していただきたい。職場の未加入社員の状況や獲得に向けていきたい」という発言があった。

座長に選出された。地本委員長は挨拶で、「東労組の混乱、大量脱退の中、職場では、多くの未加入社員がいる。国労獲得には、今までは違う状況になった。今日の情勢を活かして奮闘していただきたい。職場の未加入社員の状況や獲得に向けていきたい」という発言があった。

第16回東日本本部 軟式野球大会

盛岡地本チームは3位

「9チームが参加し熱戦」

第16回国労盛岡地本軟式野球大会が5月24・25日に東京都の大井ふ頭中央海浜公園野球場で開催された。今回は、盛岡地本を含め9チームの参加となった。



=盛岡地本チームも元気に開会式参加=

<参加者名簿>

氏名	職場名	分会名
監督 菊池 辰夫	一関保線技術センター	一関工務
選手 伊東 馨	八戸新幹線保線技術センター	八戸工務
選手 鈴木 不二人	盛岡保技セ宮古派	宮古地域
選手 佐々木 忠	盛岡総鉄機関区	盛岡貨物
選手 久保田 勝雄	盛岡総鉄機関区	盛岡貨物
選手 八戸 勝明	青森運輸区	青森運輸
選手 阿保 浩志	八戸運輸区	八戸運輸
選手 逢坂 喜美雄	出向/青い森鉄道	青森施設
選手 澤頭 俊幸	八戸運輸区	八戸運輸
選手 小笠原 保	出向/ユニオン建設・八戸	八戸工務
選手 細川 陽平	盛岡土木技術センター	盛岡施設
選手 工藤 賢二	八戸工務分会OB	
選手 浅井 敏治	八戸工務分会OB	
引率者 横内 俊博	盛岡土木技術センター	盛岡施設

前年度優勝の盛岡地本逢坂選手が、「国労精神の元、正々堂々と戦います」と力強い選手宣誓をおこなった。Aプロックに入った盛岡の予選の初戦の相手は、東京Aチーム。5月晴れの中での開会式で、伊東投手と相手投手の緊迫し

た投げ合いの中、1点を争う展開となった。6回を終わって2対3で、盛岡の1点のピハインド。先行の盛岡地本は、フォアボールをきっかけに最終回に粘りを見せ1点をもぎ取り、土壇場で追いついた。

逆転とはならなかったが、その裏の東京Aの猛攻を全員で守り切り、ゼロに抑え、予選第1試合は、3対3の引き分けで終わった。

2日目の予選2試合目の相手は、千葉地本。1回の裏、盛岡は、いきなり一番細川選手のスライディング直撃の3塁打をキツカケに、打者1巡の猛攻でなんと10点先取。先発の佐々木選手が、3回を3点に抑える好投。6・4・3のダブルプレーもあり随所に好プレーがみられた。4回からは、細川選手が投げ、予選2試合目は、11対5で勝利。これで、盛岡地本は、1勝1分で予選を終了した。キャプテン会議が召集され、予選の結果が報告された。Aプロックで2勝の仙台は、決勝に進出。3位決定戦進出は、盛岡、東京Aが、同成績のため、出場選手9名による抽選で順位を決定した。抽選の結果、7対2で圧倒的な勝利の盛岡が

3位決定戦に回った。3位決定戦の相手は、長野地本。若手の選手が多い強豪である。盛岡の先発は、細川選手。伸びのある低めのストリート、打者のタイミングを外す落差のあるカーブ、そして、打者の手元で変化するスライダーを投げ分け、相手打者を翻弄した。試合は、1点を争うシーソーゲームとなり、最終回の攻防が勝敗を明暗を分けた。先行の長野が、2点をあげ、7対6で盛岡を逆転させた。勝利を確信した長野は、抑えのエースを投入して逃げ切ろうとはかったが、粘りに粘った盛岡が最終回に2点を上げ、サヨナラ勝利となった。

今回新加入の細川選手は、7打数4安打、2塁打2本、3塁打2本、投げたのは、2試合8イニングを投げ切り、大活躍した。若い選手がベンチに入ったことで活気が出て、随所に細川効果が見られ、3位という好結果につながった。今後、若い選手の組織拡大をおこなっていく。次回は、圧倒的な強さで優勝しようと思っただけだ。

5月26日、東北貨物協会は盛岡国労会館で東北貨物協役員会と合わせて星野本部執行委員を講師に「春闘、夏季手当獲得の闘い、新人事・賃金制度について」学習会を開催した。

学習会の中で、今春闘について18年連続でベアゼロを断ち切ったことは評価できるが、ベア300円が生活改善に資するものなのか大いに不満の残る結果であった。また、55歳以上の社員の賃金改善については、交渉経緯を反故にした昨年の大きく下回るものであった。

今春闘において、貨物会社がベアを断断したことは、社員生活改善に向けた切実で強い要求に抗しきれなかったことにあり、要求と回答に乖離があり、成果と言えないまでも、職場運動、宣伝、学習と交渉が結びついた到達点として確信することも必要であり、今後の夏季手当獲得の闘い、貨物会社が不撤退の決意で実施するとしている評価主義を中心とした新人事・賃金制度にかかわる闘いにつなげていくことが大切であることを確認した。

貨物会社が新たな経営課題を理由に、私たちにさらなる犠牲を押し付ける攻撃に対して全国の仲間とともに、東北7分会団結し頑張っていく決意を固めて終了しました。

7分会団結し全国の仲間と共に頑張る 「東北貨物協学習会」

今求められる憲法に合致した社会

「憲法を護ろう！岩手県民総決起集会」

「戦争をさせない！岩手県委員会（代表呼びかけ人：石橋乙秀）」、「活憲いわたの会（代表呼びかけ人：山中俊介）」、「社会民主党岩手県連合（代表：小西和子）」、「平和環境岩手県センター」（議長：野中靖志）の共催による「憲法を護ろう！ 県民総決起集会」が5月20日、新築となった盛岡市の岩手教育会館・多目的ホールにて開催された。会場は200名超のキャパであるが満杯となり、労働組合のみならず、多くの市民の姿も見

受けられた。開会を石橋氏が宣言し、主催者を代表して小西県議が「憲法理念の実現が求められる」と挨拶。引き続き基調講演では、社会民主党全国連合幹事長・吉川はじめ衆議院議員を講師に、「憲法を取り巻く情勢」について報告・提起がされた。講演の中では、「森友・加計問題をはじめ、安倍内閣には前代未聞の事態が立て続けに起きている。安倍首相は数多くの私的諮問機関を設け、諮問を『国民の声』

として盾にしているが、そうした諮問機関の構成を見れば利害関係に通じる者が多く関わっている。『我田引水』的「縁故主義」的な古い自民党政治体質のままであるが、そのことを数の力で押し切ろうとしているのが安倍政治の本質と言える。過労死や貧困問題など、政治が責任を持って解決をしなければならぬ課題は山積。改憲ではなく、憲法に合致した社会を築き上げていくことこそが求められている。そのためには、国

政ばかりではなく、地方議会での議員を増やしていくことも大事である。社民党は、前身である社会党時代から平和の党、働く者の党として奮闘してきた。厳しい状況ではあるものの、野党共闘の要として、多くの労働者・市民と連帯して奮闘したい」と、参院選勝利に向けた決意を新たにしていた。

集会では青年協議会、女性協議会、高齢懇、それぞれから「決意表明」が行われたが、青年からは「政治のおかしさを実感。学び、行動することが必要。政治に無関心であっても、政治は自分たちには無関係なことではないと思っっている」、女性からは「若教組は教え子も我が子も戦場に送

らるなど掲げている。そのことを大切にしたい。家事介護、育児の女性への押しつけが自民党政治。仲間と共に、できることを少しずつやっていきたい」と、決意の一端が述べられた。

野中議長による団結カンパロイ三唱で閉会し、市内デモ行進へ。若教組青年部長によるシュプレヒコールは、不慣れではあるが新鮮味があり、国労としても青年の交流を図っていたかなければならないと感じたところである。

なお、集会前段に「岩手県総合選対」の結成会議を開催し、第一次として次期岩手県議員選挙盛岡選挙区へ現職・小西和子県議の推薦を確認した。



「戦争をさせない！岩手県委員会（代表呼びかけ人：石橋乙秀）」、「活憲いわたの会（代表呼びかけ人：山中俊介）」、「社会民主党岩手県連合（代表：小西和子）」、「平和環境岩手県センター」（議長：野中靖志）の共催による「憲法を護ろう！ 県民総決起集会」が5月20日、新築となった盛岡市の岩手教育会館・多目的ホールにて開催された。会場は200名超のキャパであるが満杯となり、労働組合のみならず、多くの市民の姿も見

受けられた。開会を石橋氏が宣言し、主催者を代表して小西県議が「憲法理念の実現が求められる」と挨拶。引き続き基調講演では、社会民主党全国連合幹事長・吉川はじめ衆議院議員を講師に、「憲法を取り巻く情勢」について報告・提起がされた。講演の中では、「森友・加計問題をはじめ、安倍内閣には前代未聞の事態が立て続けに起きている。安倍首相は数多くの私的諮問機関を設け、諮問を『国民の声』

として盾にしているが、そうした諮問機関の構成を見れば利害関係に通じる者が多く関わっている。『我田引水』的「縁故主義」的な古い自民党政治体質のままであるが、そのことを数の力で押し切ろうとしているのが安倍政治の本質と言える。過労死や貧困問題など、政治が責任を持って解決をしなければならぬ課題は山積。改憲ではなく、憲法に合致した社会を築き上げていくことこそが求められている。そのためには、国

政ばかりではなく、地方議会での議員を増やしていくことも大事である。社民党は、前身である社会党時代から平和の党、働く者の党として奮闘してきた。厳しい状況ではあるものの、野党共闘の要として、多くの労働者・市民と連帯して奮闘したい」と、参院選勝利に向けた決意を新たにしていた。

集会では青年協議会、女性協議会、高齢懇、それぞれから「決意表明」が行われたが、青年からは「政治のおかしさを実感。学び、行動することが必要。政治に無関心であっても、政治は自分たちには無関係なことではないと思っっている」、女性からは「若教組は教え子も我が子も戦場に送

らるなど掲げている。そのことを大切にしたい。家事介護、育児の女性への押しつけが自民党政治。仲間と共に、できることを少しずつやっていきたい」と、決意の一端が述べられた。

野中議長による団結カンパロイ三唱で閉会し、市内デモ行進へ。若教組青年部長によるシュプレヒコールは、不慣れではあるが新鮮味があり、国労としても青年の交流を図っていたかなければならないと感じたところである。

なお、集会前段に「岩手県総合選対」の結成会議を開催し、第一次として次期岩手県議員選挙盛岡選挙区へ現職・小西和子県議の推薦を確認した。

生活・法律相談窓口のご案内

相談日：2018年 7月12日(木) / 9月13日(木) / 11月8日(木)
2019年 1月10日(木) / 3月14日(木) / 5月9日(木)
相談時間：すべての相談日とも13時から15時まで
相談受付電話：019-622-5021 国鉄労働組合盛岡地方本部
相談場所：盛岡市内丸6-15 EST21ビル もりおか法律事務所
弁護士：佐々木 良博
※ 相談者氏名、相談内容等については、外部には一切公表致しません。(秘密厳守)

一般財団法人 国鉄労働会館 盛岡地方部

生活・法律相談

専門の弁護士が直接相談に応じます。

労働問題からサラ金問題、財産相続問題など、何にでもご相談ください。

無料相談